

オンライン・セミナー「多文化共生・日本社会を考える」連続シリーズ

第 15 回「DEKASEGI 第 2 世代が持つ責任感」

— 「本当」の多文化共生をめざして —

開催日: 2022 年 11 月 24 日 (木) 12:15~13:30

主催: JICA

場所: オンライン・セミナー (Zoom)

参加費: 無料

当日日程: 講演 40 分前後、質疑応答 30 分前後



【セミナー内容】

「出稼ぎ第 2 世代」とは 1990 年の入管法改正により、南米から来日した外国人の子供のことを指します。自身のルーツを忘れずに日本社会の一員として活躍してきた彼らは、どのような思いを携えて日系社会を見据えているのでしょうか。今回は第 2 世代の日系ペルー人である講師から、デカセギの 90 年代から不変の課題、さらには第 2 世代が背負う責任感や使命感などについて語っていただきます。このセミナーを通して、講師が代表を務める SHIZULATINOS の目標である、日本人とラテンアメリカ系外国人を繋ぐ「懸け橋」を、参加者の皆様と築いていければと思います。

【講師紹介】

講師: 渡邊 カルロス (わたなべ かるろす) 氏

1986 年、ペルー・リマ生まれの日系 3 世。12 歳で初来日。

当初のデカセギ第 2 世代がよく経験したカルチャーショックやアイデンティティ・クライシス (自己認識の危機) 等を受ける。

日本とペルーを行き来して、両国の文化を熟知。

2016 年から磐田市役所外国人情報窓口で責任者として従事。

2017 年 7 月より任意団体 SHIZULATINOS を設立。

静岡県内在住の外国人 (主に南米の方) を支援しながら、

自治体及び国際交流協会等と協力し本当の多文化共生をめざして活躍している。



こちらの QR コードで詳細をご確認ください。事前の参加登録が必要で、PC からご登録いただけます。

ご質問などがあれば、電子メールで JICA 中南米部 計画・移住課 木田 (5rtpm@jica.go.jp) まで、件名を「11 月 24 日・多文化共生セミナーについて」としてお問い合わせください。

